

平成 28 年 4 月 19 日

独立行政法人

郵便貯金・簡易生命保険管理機構

理事長 殿

特定非営利活動法人幼い難民を考える会

代表理事 廣戸 直江

平成 26 年度 国際ボランティア貯金寄附金による配分事業の完了報告書

標記について、下記のとおり報告します。

記

1 配分事業名（対象国・地域）

就学前教育の充実のための保育者研修及び教材配布（カンボジア・全国 25 州）

2 配分額

配分額	1,741,248 円
(内訳)	受領額 1,741,248 千円
	未受領額 0 千円

3 配分事業の総費用額等

総費用額	7,218,282 円
(内訳)	自己資金額（総費用額－（受領額－返還予定額）） 5,477,034 円
	自己資金額の割合（自己資金額÷総費用額×100） 75.9 %

4 配分事業の実施状況

(1) 日本人専門家またはスタッフの派遣状況

1. 関口 晴美（カンボジア事務所顧問）

添付「日本人派遣者現地活動実績表（長期派遣者用・様式 8）参照

添付「日本人派遣者一時帰国表」

2. 鎌田 苑子（東京事務局勤務・事業担当）

添付「日本人派遣者現地活動実績表」（短期派遣者用 様式 7）

(2) 現地での専門家・スタッフ等の雇用状況（活動内容の詳細については添付資料に記載）

名前	担当	雇用期間	勤務日数 (配分決定)
関口 晴美	カンボジア事務所 顧問	平成 27 年 4 月 1 日 ～平成 28 年 3 月 31 日	51 日 (50 人日)
チャン・スレイ	カンボジア事務所長 事業総括責任者 保育マネージャー	平成 27 年 4 月 1 日 ～平成 28 年 3 月 31 日	147 日 (140 人日)
カオ・ソクンパラディ	保育コーディネーター	平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 8 月 14 日	143 日 (140 人日)
レン・コソル	保育コーディネーター	平成 27 年 8 月 25 日 ～平成 28 年 2 月 29 日	
セン・ソヴィン	保育アシスタント	平成 27 年 4 月 1 日 ～平成 28 年 3 月 31 日	141 日 (140 人日)
ヨス・オー・アルン	保育事業アドバイザー	平成 27 年 4 月 1 日 ～平成 28 年 3 月 31 日	142 日 (140 日)
プロム・ブントウアン	会計スタッフ	平成 27 年 4 月 1 日 ～平成 28 年 3 月 31 日	109 日 (106 日)

(3) 保育者研修及び教材配布

教材製作・印刷完了・配布から事業報告書作成までの業務実施状況

4 月：印刷会社と実施スケジュールなどの打ち合わせ。保育教材（車パズル・絵本）を注文。

5 月：絵本の印刷原稿を印刷会社へ提出。

車パズル受け取り・確認作業。増刷絵本の構成・チェック

6 月：車パズル受け取り・確認作業

教育省幼児教育局担当者と配布教材の種類・研修日程・研修内容について協議

7 月：増刷絵本の受け取りと確認作業

8 月：配布教材の検品、配布教材セットの梱包作業、発送

9 月：配布教材の検品、配布教材セットの梱包作業、発送

第 1 回保育者研修への参加・研修実施（9 月 25 日～10 月 1 日）

6 州で新設される公立地域幼稚園に教材を配布

事業中間報告書の作成

10 月：配布教材の検品、配布教材セットの梱包作業

11 月：配布教材の検品、配布教材セットの梱包作業、発送

12 月：第 4 回保育者研修への参加・研修の実施（12 月 7 日～13 日）：

カンポット州（12 月 10 日）、スバイリエン州（12 月 12 日）にて、当会職員が配布教材の目的と使い方を直接保育者に説明・配布

第 5 回保育者研修への参加、教材の配布（12 月 16 日～22 日）：

プレイベン州（12 月 18 日）、スタウントゥレン州（12 月 19 日）にて、当会職員が配布教材の目的と使い方を直接保育者に説明・配布

- 1月：教材倉庫片付けと掃除
- 2月：スタッフ事業会議 2015 年度事業まとめ
- 3月：教育省の会議参加「CYK の協力事業」の確認、まとめ
事業完了報告書の作成

【事業実施後の成果】

○教材について

- ・配布した教材(詳細は添付資料を参照)
絵本「子どもの歌ひろば」「はははのはなし」「しっぽのはたらき」「みんなうんち」、復刻絵本 3 冊
セット、車パズル
- ・当会職員と教育省チームワークメンバーが協力して、2015 年度に、16 州で新設される公立地域幼稚園 357 ヶ所の保育者 357 名に対して教材配布と研修を実施することができた。配布が完了した 16 州のうち、当会職員は 10 州の公立地域幼稚園の保育者に対して直接の研修を行い、残り 6 州は ECED チームワークメンバーやコア・トレーナーが研修を実施した。
- ・研修会では保育教材の使い方や読み聞かせの仕方を中心に研修した。絵本の読み聞かせを教える際には本の持ち方や声量の指導を実施した。また、教材が壊れてしまった際の修復方法や、教材を保管する際の注意点等にも焦点を当てた。
- ・また研修では、説明者(当会職員、もしくは教育省チームワークメンバー)が、教材の使い方を提示したり、実際に保育者に教材に触ってもらったりして説明をした。そうすることで、ほとんどの保育者が教材の使い方を理解できた。ある保育者は「幼稚園で教材の使い方を子どもに教えて、早く楽しく遊ばせたい」と話していた。研修で教材の使い方を体験することで、教材がどのように子どもたちの興味を惹きつけるかを理解し、幼児教育への意欲を高めることができた。
- ・川や幹線道路の近くにある幼稚園では、子どもたちの安全のために教室内で遊ぶことが多い。そのような環境でも当会が製作した教材を提供したことで、教室内で充実した幼児教育が実施できるようになった。

○教育省職員との協働について

- ・2015 年度もこれまで同様に、教育省幼児教育局の職員 5 名は「ECED チームワークメンバー」として当会職員と一緒にワークショップを開催し、当会製作の教材の目的や使い方などを説明してきた。ECED チームワークメンバーが教材そのものの使い方の理解はもちろんのこと、教育省が指定する公立地域幼稚園のカリキュラムの中でどう教材を活用するかを理解した。それにより、ECED チームワークメンバーが自ら保育者研修を実施できるようになり、教育省職員による州・郡の幼児教育担当者への研修・指導が可能となった。

5 配分事業の目標、事業計画の評価・反省

	内容	達成状況	評価・反省
配分事業の目標	<p>政府が開設する公立地域幼稚園を支援することにより、国全体での就学前教育のレベルアップを図るとともに、より多くの恵まれない子どもたちが適切な幼児教育の恩恵に浴する機会を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2015年度にカンボジア政府が新設する公立地域幼稚園 357ヶ所への教材配布を完了した。公立地域幼稚園開設に際して用意される教材は保育者が研修で手作りするもののみである。しかし、当会配布の教材が配布され、また全保育者に対して保育者研修を実施したため、保育者の指導に幅が出て、子どもたちがより質の高い幼児教育を受けられるようになった。 ・また、公立地域幼稚園が開設される農村の子どもたちが絵本を通して文字に触れ、また車パズルで遊ぶことで形や色について学ぶことができるようになった。 	<p>【評価できる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2015年度に新設する全公立地域幼稚園の保育者に対して、当会職員が、ECED チームワークメンバーの協力を受け、教材を配布した。 ・保育者が教材を理解し、使えるようになり、修復方法も知ることによって教材がより長く、多くの子どもたちに使用されるようになった。 <p>【反省点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本来であれば16州全てに当会職員が行き、保育者へ直接配布・研修をすべきだが、同時に複数の州で研修が実施され、また当会職員の時間的制約もあり、全て回ることはできなかった。今後、機会があれば直接研修ができなかった州のフォローアップを実施したい。
事業計画	<p>実施者①申請団体 実施者②現地協力団体（教育省 幼児教育局、ECED チームワークメンバー）</p> <p><4月> 実施者①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材・絵本の印刷会社及び、教材製作者との協議開始 ・教育省と研修計画作成（日程等決定）・協議開始 ・事業計画実施に関するスタッフ打ち合わせ ・東京事務所との連絡調整・報告 <p>実施者②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議を開き、研修計画を作成、研修内容と教材について協議開始 <p><5月> 実施者①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材・絵本の印刷会社及び、教材製作者との協議継続 	<p><4月・5月・6月・7月> 教材発注準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の製作会社・絵本の印刷会社との協議を実施（製作費、納期を確認）。 ・増刷物校正についての話し合い（増刷物の校正、復刻絵本3冊セット、子どもの歌ひろば、はははの話、しっぽのはたらき、みんなうんち」の原稿を提出、注文。 <p>教材発注・受領・確認作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材発注（車パズル300枚） ・5月～6月：車パズルを受領し、確認作業・支払い。 ・7月：復刻絵本3冊セット（200セット）、「みんなうん 	<p>【評価できる点】</p> <p>○教材発注、梱包・発送作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材発注や内容の確認、梱包作業はスムーズに作業ができた。教材（特に絵本）は、全てのページを職員がチェックすることで乱丁本・落丁本が幼稚園に届かないように気を付けた。また、教材は1園ごとにセットにして段ボールに詰めることで、教材配布にミスがでないようにした。 <p>○研修実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当会職員と教育幼児教育局 ECED チームワークメンバーとが協力して、保育者研修の現

<ul style="list-style-type: none"> ・教材・絵本見本製作 ・事業計画実施に関するスタッフ打ち合わせ ・東京事務所との連絡調整・報告 ・関口晴美 業務帰国 <p>実施者②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作教材の内容、研修内容検討（継続） <p><6月></p> <p>実施者①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材・絵本増刷・製作 ・絵本印刷完了・納品開始、検品 ・事業計画実施に関するスタッフ打ち合わせ ・公立地域幼稚園保育研修・絵本他教材配布準備会議 ・東京事務所との連絡調整・報告 <p>実施者②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作教材の内容、研修内容検討（継続） ・公立地域幼稚園保育研修・絵本他配布準備会議 <p><7月></p> <p>実施者①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材製作状況確認、教材印刷完了、納品開始、検品 ・事業計画実施に関するスタッフ打ち合わせ ・東京事務所との連絡調整・報告 <p>実施者②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コアトレーナー研修実施 <p><8月></p> <p>実施者①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材検品、運搬準備（教材セット作り、梱包準備） ・2州公立地域幼稚園研修準備 ・事業計画実施に関するスタッフ打ち合わせ ・東京事務所との連絡調整・報告 ・事業中間報告書作成 	<p>ち・しっぽのはたらき・子どもの歌ひろば・はははのはなし」(各 200 冊)を受領。全ての絵本をチェック、製作費支払い。</p> <p>教育省との協議等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月： 教育省幼児教育局チームワークメンバーと、研修実施スケジュール、研修内容について協議。 ・7月26日～30日： 教育省がストウントゥレン州とココン州にてコアトレーナー研修を実施。参加者は2014年11月と同様で、25州の州・郡の幼児教育担当者288名。 (当会は2014年11月の研修会で教材説明を含む研修を実施済み) <p><8月></p> <p>研修準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製作した教材のチェックを継続し、配布する教材をセットにして梱包作業を行う。(152ヶ所分) <p>教育省が実施する研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月10日～14日： 教育省がコンボンズプー州とコンポントム州にてコアトレーナー研修を実施。参加者は2014年11月と同様(当会は2014年11月の研修会で教材説明を含む研修を実施済み)。 <p><9月></p> <p>研修準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育省に連絡、研修日程・場 	<p>場へ直接保育教材を持っていき、配布した。保育者には教材の目的・使い方や、各教材を通して子どもたちが何を学ぶことができるのかを詳細に説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者も教材の使い方を子どもの目線で使ってみる時間を取った。それにより、保育者自身が教材の使い方をよく理解でき、積極的に活用できるようになった。 ・配布した教材全てを教育省が定めるカリキュラムにある全ての課目でどのように導入するか、を研修で指導することで、保育者が具体的に活用方法を理解できた。いつ使えるかを具体的に理解することで、保育者の教材を使って教えたいという意欲を高めることができた。 ・今年度も研修においても、当会職員が研修場所に行くことができなかった州には、ECED チームワークメンバー、以前当会より教材説明・研修の方法を学んだ州・郡のコアトレーナーが保育者に教材を配布し、説明した。当会職員が直接いくのが最善ではあるが、同時に地域幼稚園の管理や運営、保育者の支援をするコアトレーナーも研修の実施方法を学ぶ機会になった。 <p>【反省点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての州・新公立地域幼稚園の保育者への直接の研修が
--	---	---

<p>実施者②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コアトレーナー研修実施 <p><9月></p> <p>実施者①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材チェック、梱包、運搬準備 ・2州公立地域幼稚園研修準備・実施 ・事業計画実施に関するスタッフ打ち合わせ ・東京事務所との連絡調整・報告 ・事業中間報告書作成 <p>実施者②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7州公立地域幼稚園研修準備・実施 <p><10月></p> <p>実施者①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材検品、梱包、運搬準備 ・教育省と研修会準備会議開催 ・2州公立地域幼稚園研修準備・実施 ・事業計画実施に関するスタッフ打ち合わせ ・東京事務所と連絡調整・報告 <p>実施者②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立地域幼稚園一斉研修（16州対象予定）準備・実施 <p><11月></p> <p>実施者①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2州公立地域幼稚園研修準備・実施 ・事業計画実施に関するスタッフ打ち合わせ ・東京事務所との連絡調整・報告 ・事業記録作成 <p>実施者②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立地域幼稚園一斉研修（16州対象予定）準備・実施 <p><12月></p> <p>実施者①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画実施に関するスタッフ打ち合わせ、保育研修・絵本配布準備 ・2州公立地域幼稚園研修準備 	<p>所などの確認。教育省の方針変更により、今年度の研修会は同時期に複数の州で実施されることになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月25日～10月1日：10州（11ヶ所）に16州の保育者が集まり、第1回保育者研修を実施。当会は6州で研修。 <p>9月25日 コンポンチュナン州 22名</p> <p>9月26日 ポーサット州 26名</p> <p>9月27日 コンポンチャム州 43名 トゥボークモム州 7名</p> <p>9月28日 コンポンスプー州 49名 ココン州 5名</p> <p><10月></p> <p>研修準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の確認作業とセット作り、梱包作業。 <p>中間報告書作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施についてのスタッフ打合せ ・中間報告書の作成 <p><11月></p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布教材の検品、配布教材セットの梱包作業、発送。 ・第3回保育者研修（11月27日～12月3日）を教育省が実施したが、この研修期間中の教材配布はなかった。 <p><12月></p> <p>研修準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材セット梱包、各研修場所へ発送 	<p>できなかった。公立地域幼稚園の保育者への研修は、全保育者が9月～12月にかけて、計5回の研修会に参加することになっている。今年度は前5回のうち、3回の研修で教材配布を実施した。しかし、同時に複数の場所で研修をしているため、当会職員とECEDチームワークメンバー・コアトレーナーで手分けをして各場所で研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当会職員が直接研修をした州では保育者が研修で学んだことの理解度を測ることまではできなかった。そのため、今後、機会を見つけて研修の成果を測りたい。 ・また、保育者が子どもたちの前で説明し、子どもたちが実際に教材で遊ぶ様子も見られる機会をつくることができなかった。今後、新設の公立地域幼稚園を訪問する機会を見つけ、教材の使用・保管状況などを評価できるようにしたい。
---	--	--

<p>備・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京事務所との連絡調整・報告 ・事業記録作成 <p>実施者②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立地域幼稚園一斉研修（16州対象予定）準備・実施 <p><1月></p> <p>実施者①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の完了に関するスタッフ打ち合わせ ・東京事務所と連絡調整・報告 ・事業記録作成 <p>実施者②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価会議開催 <p><2月></p> <p>実施者①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育省と評価会議開催 ・東京事務所との連絡調整・報告 ・完了報告書作成 <p>実施者②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価会議開催 <p><3月></p> <p>実施者①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画実施に関するスタッフ打ち合わせ ・東京事務所と連絡調整・報告 ・完了報告書作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回保育者研修の実施（12月7日～13日）。8州の公立地域幼稚園に教材配布。当会は以下2州で研修を実施、6州はECED チームワークメンバーが研修を実施 <p>12月10日</p> <p>カンポート州 31名</p> <p>12月12日</p> <p>スバイリエン州 35名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回保育者研修を実施（12月16日～22日）。当会職員は以下2州に教材配布。 <p>12月18日</p> <p>プレイベン州 24名</p> <p>12月19日</p> <p>ストウントウレン州 21名</p> <p><1月></p> <p>教材倉庫片付けと掃除</p> <p><2月></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ事業会議 2015年度事業まとめ <p><3月></p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育省の会議参加「CYKの協力事業」の確認、まとめ ・事業完了報告書の作成
--	---

6 配分項目別経費の使用状況

配分項目	①配分決定額	②変更承認後の配分額	③実際の使用額	④差額(①-③ 又は②-③)
購入費	664,248円	737,248円	882,945円	-145,697円
研修関係費	42,000円	12,000円	185,228円	-173,228円
日本人旅費	198,000円	168,000円	168,721円	-721円

日本人日当	82,000 円	76,000 円	989,185 円	-913,185 円
日本人宿泊費	13,000 円	6,000 円	19,173 円	-13,173 円
現地人件費	483,000 円	483,000 円	4,245,500 円	-3,762,500 円
現地事務所経費	259,000 円	259,000 円	727,530 円	-468,530 円
合 計	1,741,248 円	1,741,248 円	7,218,282 円	-5,477,034 円

注1：変更承認を受けたものについては、承認文書の写しを添付すること。

注2：「差額」の欄は、自己資金で負担した額か、返還を要する額となる。

7 配分事業の完了時期

平成 28 年 3 月 31 日

8 現地の人々の反響・意見

○ポーン・スレイポウさん（20 歳）

- ・コンポンスプー州コーンビットセイ郡リエット村の集会所で幼稚園を開く予定
- ・たくさんの教材があると子どもたちが楽しいし、CYK（当会カンボジア事務所）の教材は色が綺麗な
ので、子どもの興味を惹きます。幼稚園の魅力も増してみんな毎日、幼稚園に来てくれると思います。
そして子どもだけでなく、保護者も教材に興味を持って、子どもを幼稚園に通わせたいと思うよう
になると思います。それに、私自身も教材があると日々の授業がとても楽になるので、たくさんの教
材をもらって本当に嬉しいです。説明を聞いて、教材の使い方は 80%くらい理解できたので、積極的
に使いたいと思います。

○コーン・サメットさん（44 歳）

- ・コンポンスプー州プノンスルイット郡クランプフォスロット村の集会所で幼稚園を開く予定
- ・研修で教材の説明を聞いて、注目しているのは車パズルです。子どもたちに色の名前や形などを教え
られます。私は 3 年前から自主的に村の子どもたちを教えています。でも、これまでは公立地域幼稚
園でなかったため、手当も教材もなく、教えるのを続けるのが難しかったです。今は、研修を受けて
自分の知識も増えたと思うし、教材があるので教えやすくなると思います。子どもたちも楽しく学べ
ると思います。たくさんの教材をもらってとても嬉しいです。感謝しています。

9 監査結果記載欄

監査役（監査担当者）により、事業内容及び会計報告内容について内部監査を実施した後、以下の
欄に署名（自筆）及び押印してください。

上記の記載事項及び会計書類を監査したところ、配分事業の実施結果は正しく記載されており、また、配分金の適正な使用と添付の会計書類に不備がないことを確認した。

監査年月日

監査役氏名

印

【記入上の注意事項】

- 1 記4の配分事業の実施状況は、事業の着手から完了までの実施経過を日付や数量も盛り込み、具体的に記入してください。
- 2 記5の配分事業の目標、事業計画の評価・反省は、数量を盛り込むなどして具体的に記入してください。
- 3 記6の配分項目別経費の使用状況は、配分決定通知書の「配分項目」に基づき、派遣人数や雇用人数、期間等も括弧書きするなどし、漏れなく記入してください。
また、会計帳簿（写）、領収書、両替票、航空券控（eチケット控）及び搭乗半券など支出額を証明する資料をすべて添付してください。
なお、領収書、両替票、航空券控（eチケット控）及び搭乗半券など、支出額を証明する資料については、原本の提出が困難である事情を具体的に記載した理由書を提出いただき、その事情について当機構がやむを得ないと判断した場合を除き、すべて原本を添付してください。
- 4 記8の現地の人々の反響・意見は、現地の人々の率直な意見等を記入してください。また、写真等で現地の状況が分かるものを添付してください。